

夏のリコチャレ2024総括



令和6年10月23日
内閣府・文部科学省

科学技術・学術分野における現状と課題

内閣府の取組

文部科学省の取組

夏のリコチャレ2024振返りと2025に向けて

科学技術・学術分野における現状と課題

科学技術・学術分野における男女共同参画の推進に係る現状①

女性ノーベル賞受賞者数(自然科学分野)

	生理学・医学	物理学	化学	計
アメリカ	6	2	3	11
欧州	5	2	4	11
日本	0	0	0	0
その他	2	1	1	4
全体	13	5	8	26

※2023年までの受賞者を集計。

※その他の国は、イスラエル、オーストラリア、中国、カナダ。

国別ノーベル賞受賞者数(性別不問、自然科学分野)

	1901年～2000年			2001年～2023年			計
	生理学・医学	物理学	化学	生理学・医学	物理学	化学	
アメリカ	81	68	46	28	26	28	277
イギリス	22	20	26	10	3	4	85
ドイツ	15	21	27	2	6	4	75
フランス	7	11	7	3	6	4	38
日本	1	3	2	4	9	6	25

※ノーベル財団の発表等に基づき、文部科学省において、試行的に取りまとめたもの。

※日本人受賞者のうち、南部陽一郎博士(2008年物理学賞)、中村修二博士(2014年物理学賞)、眞鍋淑郎博士(2021年物理学賞)は、米国籍で受賞している。

OECDによる学習到達度調査(15歳時点)

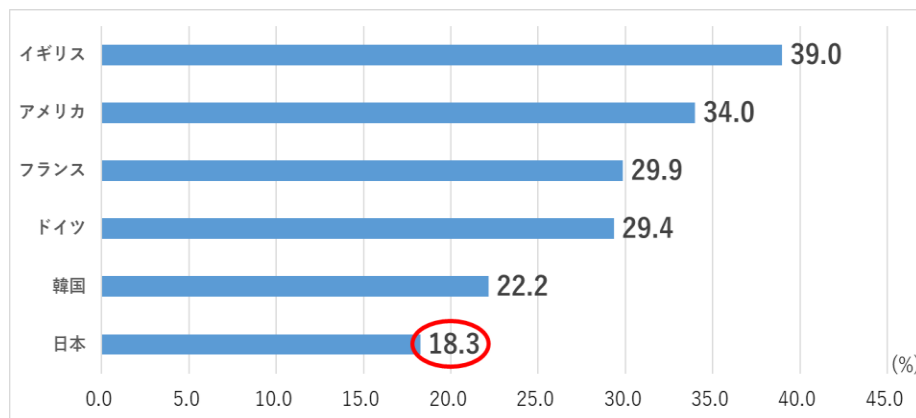
	全体	日本		全体	OECD平均	
		男性	女性		男性	女性
科学的リテラシー平均得点	547点 1位	548点 1位	546点 1位	485点	485点	485点
数学的リテラシー平均得点	536点 1位	540点 1位	531点 1位	472点	477点	468点
読解力平均得点	516点 1位	508点 1位	524点 4位	476点	464点	488点

※OECD PISA(Programme for International Student Assessment)2022 より作成

※順位はOECD加盟38か国中。

※調査段階で15歳3か月以上16歳2か月以下の学校に通う生徒が対象(日本では高校1年生)。

諸外国の研究者に占める女性割合



※ 数値は2024年1月26日確認時点

(出典)

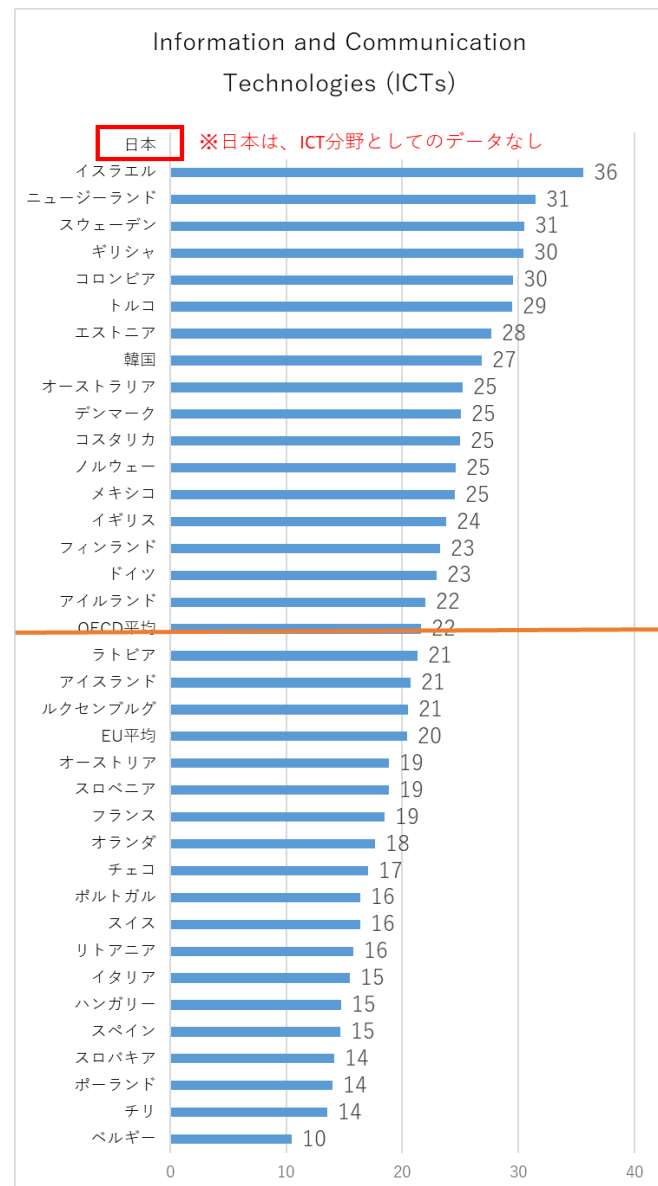
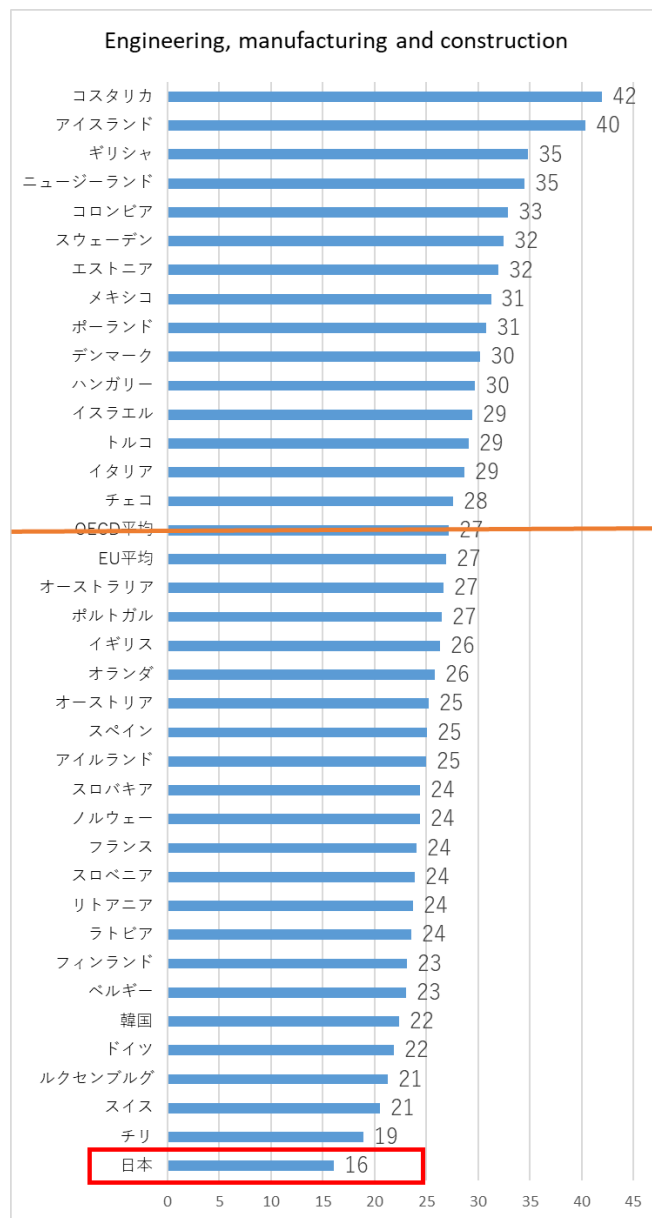
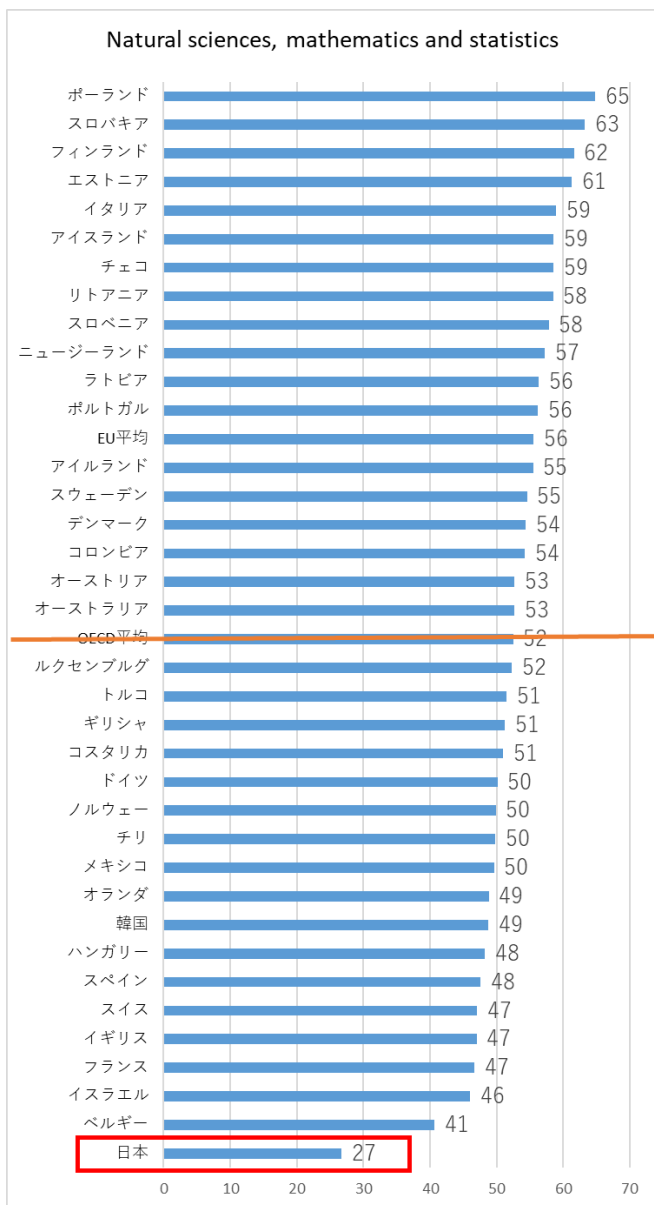
総務省「科学技術研究調査」(令和5年)

OECD “Main Science and Technology Indicators”

米国国立科学財団(National Science Foundation: NSF) “Science and Engineering

科学技術・学術分野における男女共同参画の推進に係る現状②

OECD諸国における分野別大学等入学者女性割合(2021年)



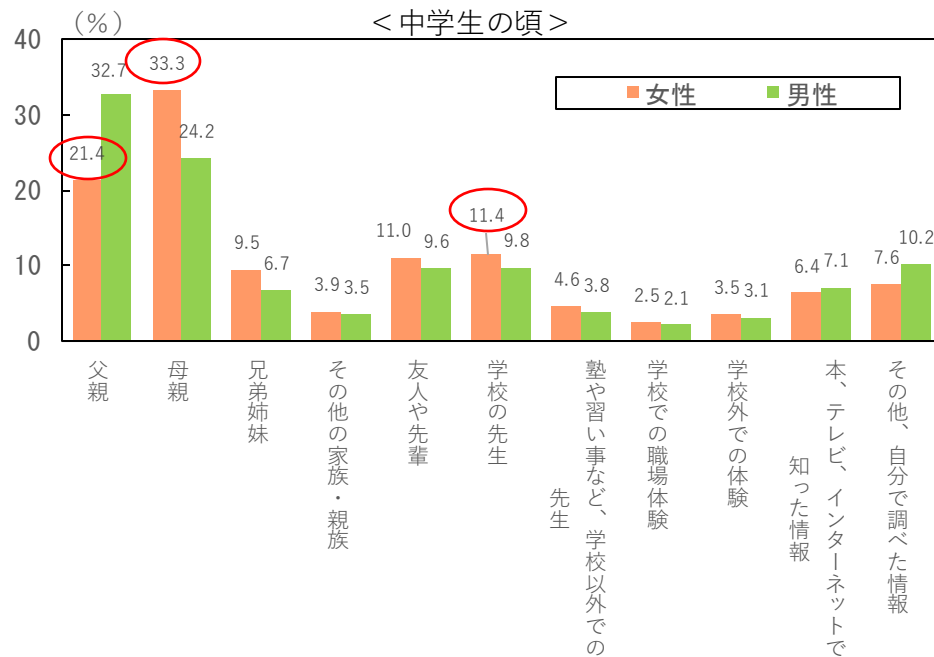
女子の進路選択への親の影響について

～内閣府調査より～

【調査結果】

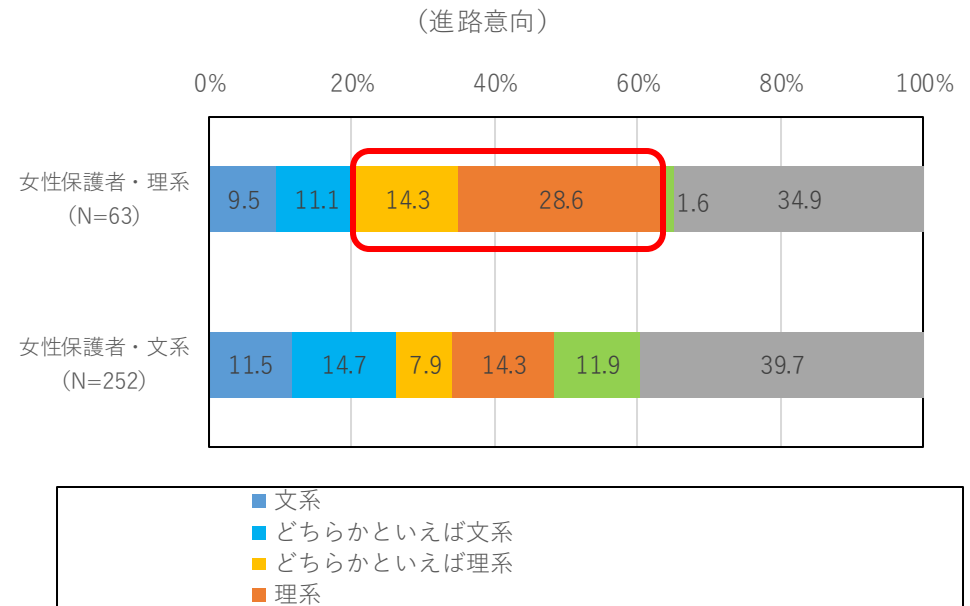
- ・中学生の頃に、働く上でのイメージや進路選択において影響を受けた人は、女性は母親、男性は父親と、同性の親の影響を顕著に受けている。
- ・また、女性保護者の最終学歴が理系の場合、その子(女子)は、将来の進路を「理系」とする割合が高くなっている。

進路選択において影響を受けたもの



※出所:「多様な選択を可能にする学びに関する調査」
(平成30年度内閣府調査)

女性保護者の最終学歴とその子(女子)の進路意向



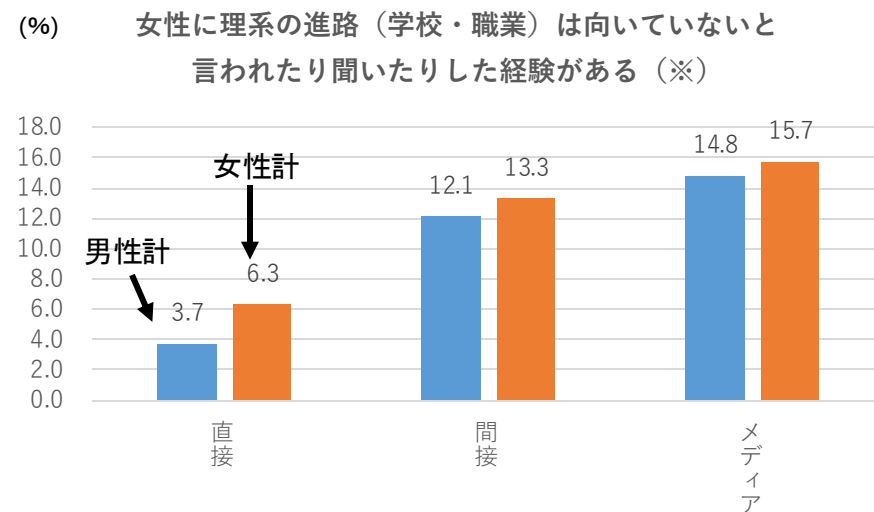
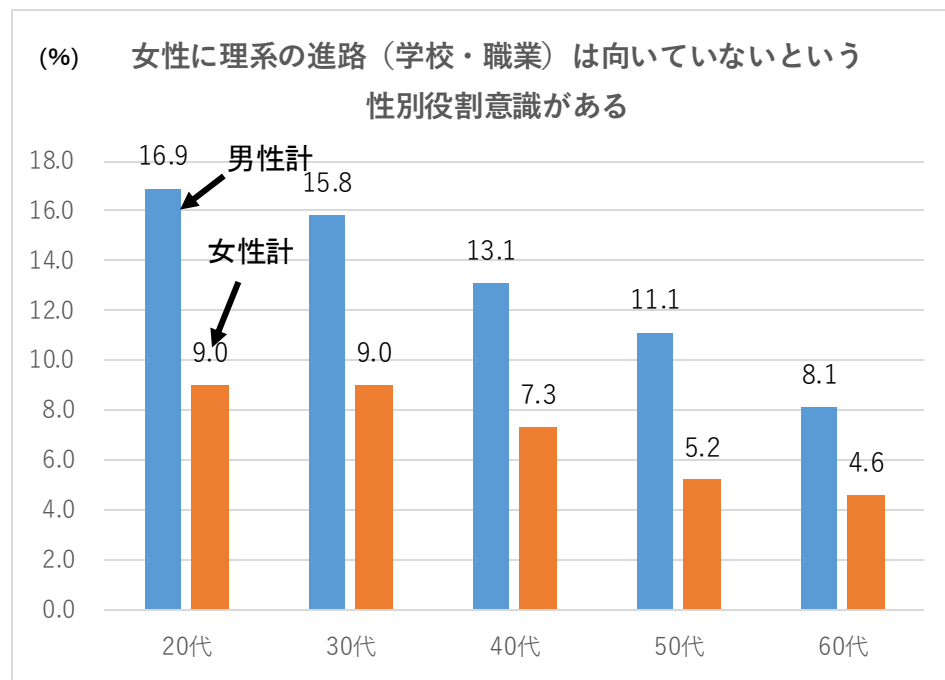
※出所:「女子生徒等の理工系進路選択支援に向けた生徒等の意識に関する調査研究」(平成29年度内閣府調査)
調査対象は中学2年生。

理系の進路選択に関するアンコンシャス・バイアスについて

～「性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)」に関する調査研究より～

【調査結果】

- ・「女性に理系の進路(学校・職業)は向いていない」という測定項目について、「そう思う」又は「どちらかと言えばそう思う」と回答した者の割合は、いずれの世代でも男性の方が高い。
- ・一方、そうした発言を言われたり聞いたりした経験のある人数の割合は、直接・間接を問わず、男性より女性のほうが高い。特にメディアで見たり聞いたりしたことがあると回答した者の割合は、男女ともに約15%となっている。こうした経験が女子学生の進路選択に影響を与えていることも考えられる。



※【直接】直接言われたり聞いたりしたことがある
【間接】直接ではないが言動や態度からそのように感じたことがある
【メディア】メディアで見たことがある

※出所:内閣府男女共同参画局
令和4年度性別による無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)に関する調査研究

内閣府の取組

理工チャレンジ（リコチャレ！）～女子生徒等の理工系への進路選択を促進～ 取組概要



リコチャレは、女子中高生等が、理工系分野に興味・関心を持ち、将来の自分をしっかりイメージして進路選択することを応援するため、平成17年（2005年）より内閣府男女共同参画局が中心となって行っている取組です。

取組

夏のリコチャレ

- ・夏休み期間中、大学、企業、学術団体等がイベントを実施
- ・内閣府・文科省・経団連がサポート
- ・令和6年度実績 119団体228イベント実施（約6,900名が参加）
（集計中（令和6年10月1日現在））

理工系女子応援ネットワーク会議

- ・理工系女子応援ネットワークに登録した団体が出席
- ・相互連携に向けた情報共有や取組方針を検討

STEM Girls Ambassadors による理工系女性人材育成

- ・STEM Girls Ambassadorsを派遣し、全国各地で講演等を開催

募集

リコチャレ応援団体

- ・理工チャレンジの趣旨に賛同する大学、企業、学術団体等 916団体
（令和6年10月1日現在）

理工系女子 応援ネットワーク

- ・リコチャレ応援団体のうち、具体的な支援を行っている団体 225団体
（令和6年10月1日現在）

若手理工系人材 （ロールモデル） による出前授業

- ・人口5万人未満の市区町村の自治体や学校へ、企業・大学等の理工系人材を派遣

ウェブサイト 「理工チャレンジ」

- ・イベント情報
- ・ロールモデル情報
- ・団体からの応援メッセージ



シンポジウム

- ・有識者や実際に活躍する女性研究者・技術者（ロールモデル）による情報発信
- ・IT業界で活躍する女性（ロールモデル）提示等

調査研究

- ・女子生徒等の理工系分野への進路選択支援を目的とした各種支援策の調査研究、事例集作成
- ・女子生徒等の理工系分野への進路選択を阻害するアンコンシャス・バイアスの払拭を目的とする研修用動画制作

ウェブサイト「理工チャレンジ」

【事業概要】

リコチャレ応援団体（※）の紹介、イベント等の掲載。そのほか、先輩理工系女性からのメッセージを掲載するとともに、質問も可能。

※リコチャレ応援団体：916団体（令和6年10月1日現在）

団体数内訳（行政機関：54団体、企業：304団体、学術・研究機関等：141団体、大学等：368団体、その他：49団体）



女子中高生・女子学生の理工系分野への選択



リコチャレとは？
What's Riko-challenge?



リコチャレイベント情報
event information



先輩からのメッセージ
message



リコチャレ応援団体
「理工系女子応援ネットワーク」の紹介
support group



リコチャレ応援団体
「理工系女子応援ネットワーク」の紹介
for university and corporation



STEM Girls Ambassador
ご案内
STEM Girls Ambassador



理工系のお仕事体感しよう！理工系に進むとどんなお仕事があるの？
RIKOCALLENGE SUMMER OF 2024
夏のリコチャレ2024
さあ、この夏、STEMを理工系の未来を手にいきませんか？！
▶ イベント情報ページに戻る ▶ トップページに戻る

概要

職場見学・仕事体験・女性技術者や研究者との交流など理工系の仕事や将来に
触れられるイベントを開催します。
無料は提供しない、ものづくりや建設の現場を見たり
STEM系理工系女子の先輩の話を聞いたり！貴重な機会です！



カレンダーから探す



開催地域から探す



対象者から探す

イベント一覧（カレンダーから探す）

カレンダーから探す

カレンダーの日付をクリックすると、イベントの詳細をご覧になれます。

2024年7月

日	月	火	水	木	金	土
30	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10

6月のイベント情報

2024年8月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
1	2	3	4	5	6	7

9月以降のイベント情報

6月

※ 開催・実施と表示されているのは、女性限定、女性限定（保護者等、関係者も参加）、女性と男子で可

「リコチャレ応援団体」「理工系女子応援ネットワーク」の紹介

▶ 団体情報一覧に戻る ▶ 企業一覧に戻る



旭建設株式会社
宮崎県日向市向江町1丁目200番地
▶ 旭建設株式会社へ

組織概要

「便利になった」「近くなった」「安心して暮らせる」「ありがとう」
ただその言葉でもらうだけでいい。喜ばれ続ける仕事。四方よし（地域よし、発注者よし、企業よし、未来よし）を目指して、昭和34年以来築き上げた経験を活かし、「土木の礎」を追求しています。
「地域よし」として地域に密着したボランティア活動（地域貢献活動）を、「発注者よし」として高品質の工事を完了させ、「企業よし」として社員の人材力向上を目指し、「未来よし」として未来を担う子供たちに気づきの心を育んでいます。
当社は土木工事の施工管理を主な仕事としており、建設・土木出身の技術者だけでなく、様々な学科の人材が活躍しています。そして「常に考える」の精神で、危険ゼロを目指し、安全と健康の確保を最優先としながら業務を行い、挑戦し続ける会社であり続けます。



（平成30年3月完成）南新市交差点工事



（平成29年11月完成）種子田道路工事

理工系分野・部門の紹介

当社は、鉄道や道、港、橋、トンネルといった主に公共の土木工事一式を行う建設業です。暮らしやすい世の中に、豊かな地域や国土を子供や孫の代まで残していくための日々仕事に励んでいます。
当社の仕事は施工管理です。施工管理とは、工程管理や安全管理、品質管理などを現場で行い、発注者との対峙や現場での指導を行う現場管理や監督業務が主な仕事ですので、女性の技術者でも大いに活躍できる仕事です。現在では、多くの建設の企業で女性技術者が最前線に立ち活躍しています。
<< 新人女性技術者の一日 >>

入社2年目

酒井希実さん（23歳）の1日

時間	内容
5:30	起床
7:25	通勤（バス）
7:30	朝礼、KY活動

※ 希実さんの3人グループは、希実さん、希実さん、希実さんです。希実さん、希実さん、希実さんです。



女子中高生・女子学生の理工系分野への選択



リコチャレとは？
What's Riko-challenge?



リコチャレイベント情報
event information



先輩からのメッセージ
message



リコチャレ応援団体
「理工系女子応援ネットワーク」の紹介
support group



リコチャレ応援団体
「理工系女子応援ネットワーク」の紹介
for university and corporation



STEM Girls Ambassador
ご案内
STEM Girls Ambassador

先輩からのメッセージ

酒井 希実さん
▶ 旭建設株式会社 工事部アセットマネジメント部門
2017年に入社し、工事全体の管理やICT関連業務など、現場に携わった仕事をこなす。土木技術者として働き出し二年が経ちました。大学を卒業するまで、土木についての勉強をしたことはなかったが、その分、日々新しい発見があり毎日が勉強で、充実した日々を送っています。

理工系分野を選択した時期・理由

短大2年生の時に、合同説明会で聞いた「地固に残る仕事」「地域への仕事」という言葉に感銘を受けて入社を決めました。自分の住んでいるところが自然に囲まれていることもあり、自然に携わる仕事にしたいと思ったこと、そしてずっと住んできた地元のために何かしたい！そう感じたことも土木技術者の道に進むきっかけになりました。

現在の仕事（研究）の魅力やおもしろさ

橋を架けたり、道路を作ったり、様々な工種を経験できることが魅力的です。そして、現場は毎日少しずつ完成に近づいていく、そんな日々変わる現場を毎日見られることも、現場に携わる人たちの特徴だと思います。
そして、学生の頃に経験した「何かを成し遂げる為に、みんなで頑張る」という行為も経験できます。それも、現場毎に異なる人が揃う。その経験新しい喜びを得ることが出来ます。
「苦労した分、達成感がある」建設業界にはこの言葉がピッタリだと思います。

女子中高生・女子学生の皆さんへのメッセージ

「土木」と聞くと、毎日汗を流し、泥まみれになりながら頑張る仕事……そんなイメージを抱かれる方が多いと思います。私もそう思っていました。実際は3次元のデータを作成したり、業者の方と打ち合わせをしたり、対外的な仕事が大半を占めています。安全な現場まで工事が完了できるよう様々な仕事をこなしていき、それが建設業です。
普段何気なく通っている橋や道路を、実際に作る側になってみると、ありがたいなと思うことが増えました。前に担当していた現場では高層道路の橋梁をつくる工事をしていたが、その場所を通るたびに「私が関わった場所だ」と達成感を感じます。私達の仕事は、今も未来も大切にするお仕事です。自分の好きな地域を守り、支えていける建設業界と一緒にチャレンジしてみませんか？

進路で人生どう変わる？理系で広がる私の未来2024 動画公開セミナー（シンポジウム）

【事業概要】

- ・女子中高生、保護者、教員等を対象に、内閣府・文部科学省・JST・経産省の共催にて開催
- ・令和6年7月8日公開

進路で人生どう変わる？ 理系で広がる私の未来2024 動画公開セミナー



基調講演

行木 陽子

中央大学特任教授／
NPO法人日本女性技術者フォーラム理事長

プロフィール

栃木県出身。大学では社会学を専攻し日本IBMに入社後研修を受けてITエンジニアになりました。そんな私が同社で技術理事に就任し、グローバルのメンバーと共に最先端のテクノロジーを活用したDX(デジタル・トランスフォーメーション)分野を牽引。大学では、AI/データサイエンス講座や産学連携のビジネスプロジェクト講座を担当しています。社会人になってから情報工学の修士、大学に移ってから高齢化社会における情報格差の研究を進め博士の学位を取得しました。

理系で広がる 私の未来 2024



講演

砂川 玄志郎

理化学研究所 生命機能科学研究センター
冬眠生物学研究チーム
チームリーダー

プロフィール

1976年福岡生まれ。2001年から小児科医として勤務。冬眠するサルの存在を知り、ヒトを冬眠させれば多くの命が助かることに気づき、2006年から研究者の道へ。大学院と研究員時代を含めて約10年間、哺乳類の睡眠研究を行う。2015年から網膜再生医療研究開発プロジェクトにて冬眠研究を始める。2022年から生命機能科学研究センター 冬眠生物学研究チームを主宰。人間を冬眠させるための研究開発を行っている。

理系で広がる 私の未来 2024



理系で活躍する先輩による経験談発表

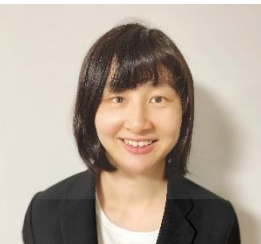
木邑 真理子

金沢大学理工研究域 助教

プロフィール

2015年、京都大学理学部卒。同大学院理学研究科に進学し、修士課程および博士課程を修了。専門は宇宙物理学・天文学で、ある日突然明るく輝く変光天体の研究を行っている。学生時代は主に可視光観測を行っていたが、2020年、理化学研究所の基礎科学特別研究員に兼任してからは、X線観測にも注力する。2023年、金沢大学にデュアルトラック助教として着任。これまでの研究を活かし、多波長観測による研究を推進している。

理系で広がる 私の未来 2024



田中 亜実

立命館大学 理工学部電子情報工学科
准教授

プロフィール

立命館高校（スーパーサイエンスプログラム1期生）を卒業。立命館大学理工学部を卒業後、同大学大学院で博士前期課程を修了。その後、同大学大学院の博士後期課程に進学し、博士（工学）を取得。立命館大学理工学部電子情報工学科の特任助教、講師を経て、2023年より立命館大学理工学部電子情報工学科の准教授。身の回りのわずかなエネルギーを電力に変換して活用するセンサシステムの構築に関する研究に従事。

理系で広がる 私の未来 2024



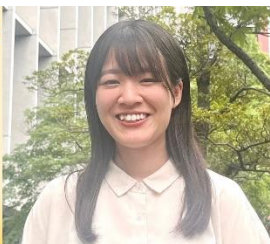
武島 侑里

南海電鉄 公共交通グループ鉄道事業本部
えきまち計画推進部

プロフィール

1996年生まれ奈良育ち。大阪市立大学工学部都市学科で、まちづくりを中心に建築や土木を学び、よりまちづくりへの理解を深めるため、同大学の大学院（都市計画研究室）へ進学。趣味のカメラを活かしながら、まちづくりに関する研究論文やプロジェクト活動に取り組み。まちづくりと強い繋がりがある鉄道会社で、沿線をより魅力的にデザインする仕事がしたいと南海電鉄に入社し、建築担当として駅のリニューアルなどを担当している。

理系で広がる 私の未来 2024



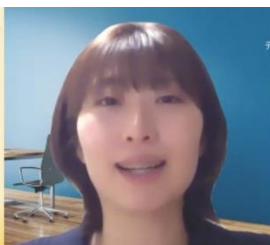
金子 明香里

BIPROGY株式会社 市場開発本部
データ&AIサービス部 Rinzaサービス室

プロフィール

学生時代、理工学部の表現工学科にてデザイン制作や表現技術について学ぶ。大学卒業後はBIPROGY株式会社に入社し、入社5年目までSEとしてシステム開発を担当。その後、業務提携先にてデータインフォームドの考え方や分析手法を学び、現在データサイエンティストとしてデータ分析業務に従事。データサイエンティストの教育にも携わり、教材開発や講師を担当するほか、サービスの適用や開発に取り組んでいる。

理系で広がる 私の未来 2024



【事業概要】

女子生徒等の理工系分野への進路選択を促進するため、理工系分野で活躍する多様な女性の姿（ロールモデル）を示すとともに、女子生徒等の理工系進路選択を社会全体で応援する気運醸成を図ることを目的。ロールモデルの提示策を強化すべく、令和4年度に、メッセージ動画を男女共同参画局公式YouTubeにて公開。

【主な活動】

1. 地方公共団体や学校等において開催されるセミナー、シンポジウムでの講演等
2. 広報誌やWebサイト上でのメッセージ発信
3. その他本事業の趣旨に鑑み相応しい活動

Ambassador一覧（令和6年10月1日時点） ※敬称略・五十音順	
阿部 玲子	株式会社オリエンタルコンサルタンツグローバル執行役員兼インド現地法人代表取締役会長
杉本 雛乃	経済産業省
ズナイデン房子	日本マクドナルド株式会社 取締役上席執行役員 CMO
田中 純子	広島大学理事・副学長/ 大学院医系科学研究科特任教授
玉城 絵美	H2L,Inc.CEO、琉球大学工学部教授、東京大学大学院工学系研究科教授
中島 さち子	音楽家、数学研究者、株式会社steAm代表取締役
行木 陽子	中央大学 特任教授、NPO法人日本女性技術者フォーラム 理事長
山崎 直子	宇宙飛行士
渡辺 美代子	日本大学 常務理事、NPO法人ウッドデッキ 代表理事



STEM Girls Ambassadors

理工系女子応援大使のご案内

理工系の最前線で活躍するSTEMGirls Ambassadorsが、理工系の魅力をお伝えします。
講演会やイベントへの派遣を希望する学校や地方公共団体はお気軽に御相談ください！

派遣費用は内閣府が負担します！

阿部 玲子 REIKO ABE
杉本 雛乃 HIRANO SUGIMOTO
ズナイデン房子 FUSAKO ZNAIDEN
田中 純子 JUNKO TANAKA
玉城 絵美 EMI TAMAKI
中島 さち子 SACHIKO NAKAJIMA
行木 陽子 YOKO NAMEKI
山崎 直子 NAOKO YAMAZAKI
渡辺 美代子 MIYOKO WATANABE

※派遣費用については内閣府が負担します。【国金・費費】
※主に女子中高生を対象としていますが、小学生や男子生徒、保護者等の関与も歓迎します。

問合せ先
内閣府男女共同参画局推進理工チャレンジ事務局
03-6257-1181 g.riko-challe@cao.go.jp

STEM Girls Ambassadors派遣申請フォームはこちら <https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0429.html>

令和6(2024)年度イベント数・参加者概数 (※令和6年10月1日時点)	
令和6(2024)年度イベント(予定)数	16イベント
令和6(2024)年度イベント参加(予定)者概数	3,400名
令和5(2023)年度イベント数・参加者概数 (※令和6年3月31日時点)	
令和5(2023)年度イベント数	18イベント
令和5(2023)年度イベント参加者概数	3,800名

男女共同参画の視点を取り込んだ理数系教科の授業づくり ～中学校を中心として～

【事業概要】

教員等の指導者の方々へ向けて、

○男女共同参画の視点の必要性

○無意識に持っていた固定概念・考え方や言動への気付き

＜無意識に行っている言動＞

- ・テストの点数の良かった女子生徒に、「女子なのに数学／理科ができて、すごいね」と言葉をかけている
- ・理科の実験授業において、操作は男子、記録は女子、という生徒間の役割分担が自然とできており、それに任せている

○男女共同参画に配慮した理数授業の事例

○教員のアドバイスをきっかけに理数系に進んだ女性の事例

等から構成される、啓発資料「男女共同参画の視点を取り込んだ理数系教科の授業づくり～中学校を中心として～」を作成。



▲じゃんけんをしながら確率を計算する様子



▲授業で生徒が作成したイルミネーションの一部



▲生徒が実際に行った板書発表の内容

⇒ 文部科学省と連携して普及を図り、教員等の指導者の無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）の払しょくに取り組む。

※文部科学省から都道府県教育委員会に対し通知を发出し、文科省HPにリンクを掲載。

啓発資料

第3章：H頃のふるまいを振り返ろう

■第3章の目的

この章では、誰もが持っているアンコンシャス・バイアス（無意識に持っている思い込み）に自ら気づき、男女共同参画の視点を配慮した授業の実現に向けてふるまひや生徒の話し方についてどのように改めると良いかを明確にするための活動を紹介しています。

なお、本書の第2章「自分を知らう」に解説していた「啓発者書」を振り返りてみてほしい。自身のバイアスに気づくための1つの方法です。

『「啓発者」を描いてみてくださる』の解説

自分が書いた啓発者を描き、以下の観点で振り返ってみよう。

人種	性別	職業・役
髪型	居住地 (どこにいるか)	行動 (何をしているか)

○イギリスとアメリカの学校でこの活動を実施したところ、大多数の生徒が「白人で、職業をあげ、髪を生やして、先づいてるが髪型を定めた男性が、 $1+1=2$ のよう簡単な公式が書かれた黒板の前には立っている様子を撮りました。

○近年の研究によると、社会の男女平等が進んでいるにも関わらず、女性を数学者として認識している人は男女とも非常に少ないということが指摘されています。また数学者のみならず科学者についても同様の研究結果が出ています。こうした状況を改善するには、理工分野における女性のロールモデルを周知し、過去に啓発者として描かれた女性や身近な課題を語ることで数学者であると考えられています。

振り返ってみてみてはいかがでしょうか？ 科学者やその他の研究者を題材にした、生徒と一緒に振り返ってみると新たな気づきを得ることができそうです。

[キーワード] 男性優位/ジェンダー・ステレオタイプ

■指導者教育事例

2020年ヒーストリックリサーチ財団が公開された教育研究プログラムに掲載されている活動の中から、本書では啓発者に以下の3つを紹介しています。

いずれの活動も他教科にも応用でき、特別に特別な必要はなく、手軽に実施できるものが多いため、教育センターや各教科現場で実施する教員向け研修の材料としても活用していただくことも可能です。また、教員と生徒が一緒に実施するものもありますので、授業の一環として活用いただくことも可能です。

No.	活動名	対象者	活動概要
1	ジェンダーバイアスと啓発者	教員	✓ 歴史的に作成された生徒のプロフィールを基に、その生徒の背景について教員が協議する
2	啓発者に対する観察	教員・生徒	✓ 生徒に向けたアンケートを実施し、教員が結果を分析する（生徒が結果を分析することも可能である）
3	授業の観察	教員	✓ 教員が同僚の授業を観察し、男女を公平に扱っているかチェックする

出典：Kordas, H. & Leifer, G. Gender and Mathematics Supplementary Materials, Issues in the Teaching of Mathematics, State of Victoria Department of Education and Training, 2020.

13



▲男女別グループでの実験の様子

女子生徒の理工系進路選択を阻害する アンコンシャス・バイアスへの気づきを促す啓発動画

【事業概要】

- ・「女子は数学が得意ではない」等のアンコンシャス・バイアス（無意識の思い込み）が、女子生徒の理工系進路選択を阻害することがあります。
- ・そうしたアンコンシャス・バイアスへの気づきを促すことを目的とした動画を、男女共同参画局YouTubeチャンネルにて公開しました。
- ・動画は、学校の授業や実験における教員の声掛け、家庭における保護者の反応など、4つの事例から構成されています。

★動画は下記より御覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=j97LxeLB-TQ>

Case1



★数学で高得点を取った女子生徒に教員が掛けた言葉は・・・

Case2



★理科の実験で器具操作と記録の役割分担が指示されるが・・・

Case3



★ガスバーナーの扱いに慣れていない女子生徒への教員の配慮は・・・

Case4



★工学部の大学案内を見て楽しそうに話す女子生徒への母親の反応は・・・



【調査の背景と目的】

我が国の理工系分野における女性研究者・技術者の割合は依然として低い水準にあり、今後、イノベーションの創出によって社会の課題を解決するためにも、女性研究者等の活躍を推進することは急務である。しかしながら、特に理工系分野において次代を担う女子学生の比率は低い状況である。本調査では、地域によって異なる進路選択の実態の把握及び要因分析を行い、その結果を踏まえて、女子生徒の理工系分野への進路選択を促進するうえで重点的な取組が求められる分野・地域等、今後の事業のフォーカス・エリアを特定することを目的とする。

【調査実施方法】

①統計に基づく集計・分析

- 文部科学省「学校基本調査」の二次分析により、出身都道府県ごとの学部別男女別入学者数の集計や、進路選択に関する地域別の特徴について整理し、都道府県別にみた理工系分野への進学状況の実態を把握。
- さらに、理工学部を設置状況、地域の社会経済状況、産業構造等に関する各種統計データと、4年制大学や理工系分野への進路選択との関連性を分析し、大学進学率や理工系分野に占める女性比率の地域格差に影響を与える要因について検討。

②高校生に対する進路選択アンケート調査

- 高校生の進路希望や進路選択の理由、保護者や教員からの働きかけ、固定的性別役割分担意識等を把握するため、インターネット・モニターを対象としたWebアンケート調査を実施。
- 全国の高校生から性別や居住地域に偏りなく回答を得るため、性別・地域ブロックによる割付を実施。
- 最終的に、高校生本人から4,594件の回答を得た。回収件数は以下のとおり。

性別	地域ブロック								計
	北海道・東北	南関東	北関東・甲信	北陸	東海	近畿	中国・四国	九州・沖縄	
女性	273	666	200	106	310	415	224	291	2,485
男性	203	661	146	68	246	393	177	175	2,069
その他	9	10	5	0	2	8	1	5	40
合計	485	1,337	351	174	558	816	402	471	4,594

※上記のほか、「高校生の子を持つ保護者（モニター登録者）に配信し、保護者による代理回答が困難な一部設問を除き、保護者に回答を依頼する方法」による回収も行い、保護者の代理回答で446件の回答を得た。したがって、高校生本人の回答と合わせ、回収数は5,040件であった。ただし、保護者による代理回答では、高校生本人の回答と比べて「わからない」の回答割合が高いなど、一部の設問で回答傾向の違いが確認されたことから、集計対象は高校生本人の回答のみとしている。

女性の理工系分野への進路選択における地域性の分析（高校生に対する進路選択アンケート）

①女性の理工系分野への進路選択に影響を与える要因（まとめ）

- 女性の理工学部志望者は、**数学や物理が好きで、理数系の成績も上位者**が多く、**幼少期の科学館・博物館体験や大学や自治体のイベント等**の**理系的経験**が多い。理工系分野に興味を持つきっかけとして、理系的経験が寄与している可能性がうかがえる。
- 進路選択の理由として、**将来像が明確であるから、就職・転職に有利だから、将来高い収入が得られるから**など、理科学習に対する動機付けが高い。
- **保護者も理工系を専攻していた割合が高く**、生徒の進路について、保護者が理系進学を望んでいると認知している割合が高い。理工系学部出身の大人が身近にすることで、理工系の職業イメージが湧きやすくなったり、理工系への進学を勧められる機会が増えたりすることが、**理系に対する前向きなイメージ**につながっている可能性が考えられる。

②理工系分野への女性の進学に関する地域性についての分析（まとめ）

- 女性の理工系分野への進路選択に影響を与える要因のうち、**教科・科目の好き嫌いや成績、理系のイメージ等**については、**人口規模による大きな傾向の違いはみられない**。
- 一方、幼少期の科学館・博物館体験や、大学や自治体などが主催するイベントへの参加経験等の**理系的経験は「5万人未満」で少なく、理工系に対する興味を深める機会が不足している**ことがうかがえる。
- また、**保護者の学歴や家庭の暮らしの状況**など、女性の4年制大学進学に影響を与える各種指標は、**人口規模が小さいほど低い水準**にあり、地域の社会経済状況が女性の進路選択に影響していることがうかがえる。

- 女性の理工系分野への進路選択を促進するうえで、人口「5万人未満」の地域は相対的に課題が大きく、今後重点的に取り組むべき地域と考えられる。



➤ 「5万人未満」の地域における課題

- 進路に関して、近隣に大学等の高等教育機関が少なく選択肢が狭い。
- 地域的に、理系的経験に関する資源が少ない。（イベント等の開催頻度が低い、イベント等へのアクセスが悪い等）
- 家庭内に大学に関する有形無形の資源が少ない。（親世代における大卒者の比率が低い等）

- 「5万人未満」の地域において今後求められる取組として、大きく以下の2点が挙げられる。

➤ 高等教育機関へのアクセスの改善

（情報提供等を通じた、理工系分野への進学・職業イメージの向上）

- 生徒の進学意欲を高める観点から、理工系の学部で学んだり研究したりする内容の具体的なイメージや、卒業後の理工系分野での就職に関する情報提供を、中学生や高校生に対して積極的に実施。
- 家庭環境や居住地域により進学しにくい生徒に対し、大学進学及び入学後のサポート等を促進することも有効。



➤ 幼少期からの体験やイベント等を通じた、理工系分野への興味を深める機会の創出

- 出前実験教室やオンライン教室の開催のほか、スクールバス等を活用したイベントへのアクセスの向上。
- 5万人未満の市町村の児童・生徒が参加しやすいような工夫を講じるとともに、参加者の性別が偏らないよう、児童・生徒及びイベント登壇者の性別統計収集を必須とすることが望まれる。
- 市町村の協力体制の下、公民館等の地域の拠点を活用したオンラインイベント（パブリックビューイング等）の開催も一案。



若手理工系人材（ロールモデル）による出前授業

●事業の目的

人口5万人未満の市区町村を重点的に対策すべき地域と定め、若手理工系人材による出前授業を実施することで、女子生徒の理系的体験の機会の創出と、地域におけるロールモデルの掘り起こしを目的とする。

●事業概要

- ・実施時期：令和5年9月～令和5年12月
- ・実施地域：3地域（人口5万人未満の市区町村から選定）
 - 佐賀県基山町
 - 福島県喜多方市
 - 長野県阿智村
- ・参加対象：小・中・高校女子生徒（男子生徒も可）・保護者・教員・地域住民等
- ・参加者数：50～100名程度（地域の教育委員会や学校と連携して募集）
- ・ロールモデル：理工系分野への従事期間が10年以内の若手女性人材（1地域3名）
（当該地域の地元企業・大学・研究機関等で活躍する理工系人材等）
- ・プログラム：ロールモデルの講演や専門分野に応じた実験等の体験（2～3時間程度）
- ・参加者アンケート：出前授業の満足度、理工系進路選択への興味関心度、理工系進路選択についてのメリット・デメリット等





若手理工系人材（ロールモデル）による出前授業 実施結果（総括）

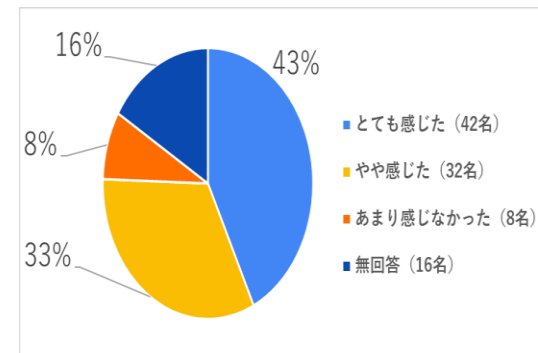
【令和5年度開催実績（総括）】

実施地域：佐賀県基山町、福島県喜多方市、長野県阿智村

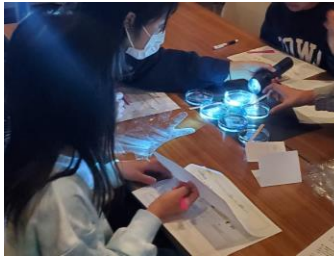
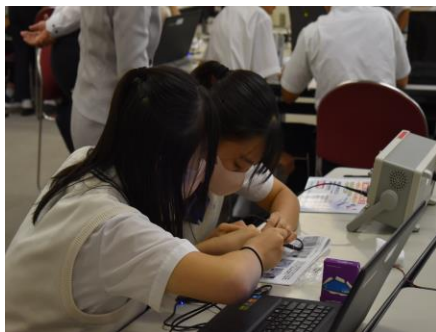
延べ参加者数：217名

（うち、児童・生徒：136名、保護者・教員等：81名）

イベントを通じて理工系の魅力を感じた生徒等の割合：**76%**



【授業の様子】



文部科学省の取組

文部科学省における理工チャレンジに関する取組

- 「令和6年度「理工チャレンジ」説明会」について、教育委員会・教職員等に周知
- 教育委員会等への事務連絡発出、文科省メールマガジンによる「夏のリコチャレ2024～理工系のお仕事体感しよう！～」の周知
- 「夏のリコチャレ2024～理工系のお仕事体感しよう！～」を内閣府・経団連と共催
- 「進路で人生どう変わる？ 理系で広がる私の未来2024動画公開セミナー」の文科省SNS・メールマガジンでの周知



文部科学省における取組

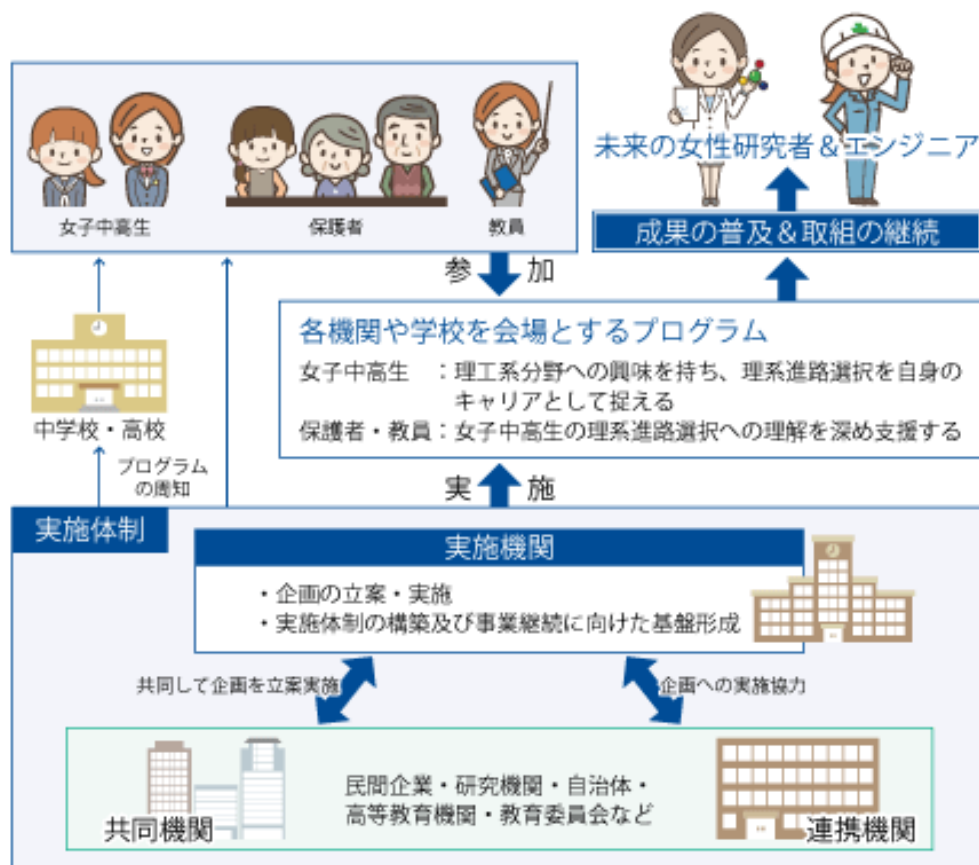
- 女子中高生の理系進路選択支援プログラム
- 学校における男女共同参画の推進のための教員研修プログラム
- 学校と地域で育む男女共同参画の促進
(小学生・中学生向けの教材)
- 入学者の多様性確保に向けた選抜について

事業の目的・目標

- 女子中高生の理工系分野への興味・関心を高め、更に意欲・能力を伸長させる機会を提供することで、適切に理工系分野へ進むことを支援するため、科学技術分野で活躍する女性研究者・技術者、大学生などと女子中高生との交流機会の提供や、シンポジウムや出前授業などの取組に加え、地域や企業等と連携した取組などを実施する大学等を支援する。

支援の概要

- 採択期間：3年間
- 実施規模：17拠点程度の大学・高専等
含めた連携機関等
(うち令和7年度新規：10拠点程度)
- 支援額：年間300～900万円/機関
- 対象：女子中高生、保護者、教員
- 内容：シンポジウム開催、実験、出前講座、
理系キャリア相談会等



女子中高生の理系進路選択支援プログラムの概要

理工系分野における多様な学びの機会の提供

1. 出前授業による実験体験

教科書の内容を超えた範囲を出前授業の形で実施。視野を広げ、理数分野への関心を広げるきっかけにする。



<大学の先生に教わりながら実験体験>

2. 企業見学・フィールドワーク

地元企業へのフィールドワークを実施。企業紹介、女性社員との交流などを行うことで進路選択の参考にする。



<発電所見学（フィールドワーク）>

保護者・教員へのアプローチ

1. 保護者・教員向けへの理系進路選択支援イベント・ワークショップ

女子生徒の理系への進路選択支援を後押しする講演会を開催

女子生徒のキャリア支援を考える保護者向けワークショップ・講演会の開催



理系女性のロールモデルの周知

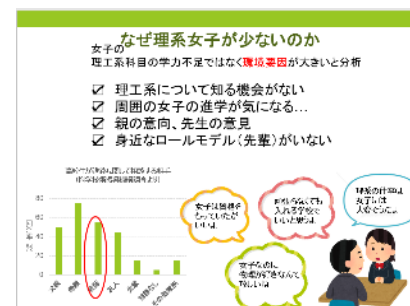


<ロールモデル講演会>

<ロールモデル集>

2. 教員向けの情報提供

校長会等の既存の集会を活用し進路選択支援に関する理解を深める講演会を実施



<教員向け講演会の様子>

児童・生徒の興味・関心の向上

- 科学を学ぶことへの興味について、既に高校 1 年生の時点で男女差が生じていることから、**女子中学生を対象**とした取組を実施することを必須

- ➡ 教育委員会との連携実績も増加し、より幅広い生徒層にアプローチ
- ➡ 文理選択を迷っている生徒の意識変容に寄与

「文理選択を迷っている」参加生徒のアンケート回答結果（R 5・全実施機関総計）

科学技術や理科・数学に対する興味・関心が高まった	80%
科学技術や理科・数学に対する学習意欲が高まった	73%
今後、理系の進路を前向きに選択しようと思うようになった	65%
将来、科学技術を必要とする職業に就きたいと思うようになった	89%

左表集計対象：
実施機関の取組に参加した生徒のうち、「文理選択を迷っている」と回答した2,565～2,577名
※割合の算出に際して「無回答」を除外しているため、回答者数にわずかな変動がある。
（全アンケート回答者は8,394名）

- **民間企業の参画**を必須とし、企業が関わる取組が増加
例：企業見学、ロールモデルの提示（研究者以外の理系進路の理解促進）
- ➡ 企業との関係構築により実施体制の自立化も後押し
例：企業からの講師派遣の無償協力や協賛金提供など

学校における男女共同参画の推進のための教員研修プログラム



文部科学省

～「無意識の思い込み」（アンコンシャス・バイアス）に気付くために～

男女共同参画の推進には、固定的な性別役割分担意識の解消や、「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」に気付いて言動等を見直していくことが必要です。文部科学省では、初等中等教育の学校現場における男女共同参画について、教員自身の「無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）」に気付きを促し、男女共同参画の基本理念や意義を整理するとともに、日常の教育活動や学校運営などを男女共同参画の視点から捉え直し、学校の管理職や教員自身の指導のヒントにつながる研修プログラムを作成しました。

＜研修プログラムで提供する教材＞

教材は4種類の「動画教材」の他、「ワークシート」、研修プログラムを企画・実施するための「実施の手引き」があります。

◆ 動画教材

ケース動画（11の教育現場）の他、ケース動画のポイントを示す解説動画、社会的な背景をまとめた講義動画などを掲載しています。

主な対象	ケース(場面)			
小学校教員 【初期・中堅】	ケース1 教室の日常 (家庭科・掃除)	ケース2 学校行事(卒業式)	ケース3 小学校での キャリア教育	ケース4 ワーク・ライフ・ バランス
中学校・高校教員 【初期・中堅】	ケース5 教室の日常 (理科の実験)	ケース6 学校行事(体育祭)	ケース7 大学の 専攻分野の選択	
管理職／管理職候補 教育委員会教職員 【管理職・ミドルリーダー】	ケース8 教員の日常 (校務分掌)	ケース9 教員の日常 (校長会議)	ケース10 ミドルリーダー への声かけ	ケース11 男性教員の 育休取得

◆ ワークシート

ケース動画を視聴したあとに、ケースを見て気付いたこと、ディスカッションをして思ったこと、解説動画を視聴して研修を振り返り、考えたこと等を記入します。

◆ 実施の手引き

動画教材を対象や時間、目的等にに合わせて組み合わせて活用し、教員研修プログラムを企画・実施するための手引きです。

＜研修の流れ＞

【基本ワーク（1回のワークでSTEP1～3を行う場合）】

①時間 60分 ②形態 校内研修や教育センター等主催
※「実施の手引き」では、応用編として25分～90分のワークの展開例も示しています。

STEP1-1 研修の説明 【全体】 1分	参加者に研修の目的や流れを説明する
STEP1-2 ケース動画視聴(個人ワーク含む) 【全体】 8～10分	ケース動画を視聴しながら、イラストを見たり、会話を聞いたりして気付いたことや、それに関連して考えたことをワークシートに記入する
STEP2-1 グループディスカッション 【グループ】 15～20分	小グループに分かれて、男女共同参画の視点からイラストを見て気付いたことや、それに関連して自分の生活や経験から考えたことなどについて、意見交流を実施
STEP2-2 全体共有 【全体】 4～9分	各グループの話し合いの内容や感想等を全体で共有する イラスト教材の話題だけでなく男女共同参画の視点、課題とつながって考えられるような意見を取り上げる
STEP3-1 まとめ・解説動画の視聴 【全体】 27分	まとめ・解説動画を視聴する ※まとめ動画は、視聴したケースに関わらず共通で視聴できる ※解説動画については、視聴したケースに合わせて選択する
終了後～翌日 研修の振り返り	研修の振り返りをワークシートに記入する ※研修の振り返りは、60分のワークには含まない

＜詳しくは、こちらから＞

●男女共同参画の推進に向けた教員研修モデルプログラムの開発

https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/kyoudou/detail/1416258_00002.htm



学校における男女共同参画の推進のための教員研修プログラム

ケース7 大学の専攻分野の選択

放課後、クラスの生徒と雑談している時、生徒は、進学する大学や専攻分野について迷っていることや、親の意見も気にしていることなどを話し出しました。

女子生徒「最近、工学部っておもしろそうと思っているんです。だけどうちの親は、文系のほうが成績がいいのだし、就職先も見つけやすいから文系に行ったほうがいいって言うんです。それに、女なんだから東京なんかに行かないで家から通える大学にしろとか、浪人もダメだとかいうんですよ。どう思います？」

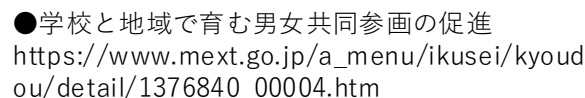
女子生徒の発言や気持ちをどう思いますか。
女子生徒の親の発言や気持ちをどう思いますか。



小・中学生を対象に、男女の尊重や自分を大事にすることの理解、固定的な性別役割分担意識解消の理解を深める教材及び指導の手引き等を作成しました。

4種類の教材（小学生低学年・中学年・高学年、中学生向け）と教育プログラムを企画・実施するための「**指導の手引き**」があります。

保護者に対し、教育内容や男女共同参画の意義を説明するとともに、固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込み等について伝えるための資料です。小学生向け家庭学習シートもあります。



入学者の多様性確保に向けた選抜について

■ 背景

- 多様な価値観が集まり新たな価値を創造するキャンパスを実現する観点から、各大学の創意工夫の一方策として、アドミッション・ポリシーに基づき、各大学が**キャンパスに多様性をもたらすことができる**と考える者を対象とする選抜を実施することも有効
- **そうした選抜が実施できることを明確にするため**、入学者選抜の基本方針である「大学入学者選抜実施要項」の**入試方法に、令和５年度より「多様な背景を持った者を対象とする選抜」を追加**

■ 令和７年度大学入学者選抜実施要項（令和６年６月５日付文部科学省高等教育局長通知）（抄）

第３ 入試方法

１ （略）

２ 上記１（１）から（３）の入試方法【補記：一般選抜、総合型選抜、学校推薦型選抜】において、各大学の判断により、入学者の多様性を確保する観点から、入学定員の一部について、以下のような多様な入学者の選抜を工夫することが望ましい。

- （１）高等学校の専門教育を主とする学科（以下「専門学科」という。）又は総合学科卒業生及び卒業見込み者
- （２）帰国生徒（中国引揚者等生徒を含む。）又は社会人

（３）家庭環境、居住地域、国籍、性別等に関して多様な背景等を持った者

この場合は、**家庭環境、居住地域、国籍、性別等の要因により進学機会の確保に困難があると認められる者**その他**各大学において入学者の多様性を確保する観点から対象になると考える者**（例えば、理工系分野における女子等）を対象として、**入学志願者の努力のプロセス、意欲、目的意識等を重視した評価・判定を行うことが望ましい**。その際には、こうした**選抜の趣旨や方法について社会に対し合理的な説明**を行うことや、入学志願者の大学教育を受けるために必要な知識・技能、思考力・判断力・表現力等を適切に評価することに留意すること。

【参考】理工系の女子を対象とする選抜を実施する国公立大学（令和7年度入学者選抜）

【30大学 37学部（国立：27大学 34学部、公立：3大学 3学部）】 ※青塗：令和7年度入学者選抜より実施するもの【16大学・20学部】

	大学	設置主体	学部等	入試方法	募集人員
1	室蘭工業大学	国立	理工	総合型	10
2	北見工業大学	国立	工	総合型	16
3	福島大学	国立	理工学群	総合型	8
4	東京科学大学	国立	理学院	総合型	15
			工学院	総合型	70
			物質理工学院	総合型	20
			情報理工学院	総合型	20
			環境・社会理工学院	総合型	9
			生命理工学院	学校推薦型	15
5	金沢大学	国立	理工学域	総合型	38
6	福井大学	国立	工	総合型／学校推薦型	15／10
7	滋賀大学	国立	データサイエンス	総合型	20
8	香川大学	国立	創造工	総合型	4
9	佐賀大学	国立	理工	総合型／学校推薦型	12／3
10	琉球大学	国立	工	総合型／学校推薦型	10／10
11	秋田大学	国立	総合環境理工	学校推薦型	15
12	茨城大学	国立	工	学校推薦型	15
13	千葉大学	国立	情報・データサイエンス	学校推薦型	15
14	電気通信大学	国立	情報理工学域	学校推薦型	5
15	新潟大学	国立	工	学校推薦型	5
16	富山大学	国立	工	学校推薦型	10
17	山梨大学	国立	工	学校推薦型	14
18	名古屋大学	国立	工	学校推薦型	9
19	名古屋工業大学	国立	工	学校推薦型	28
20	三重大学	国立	工	学校推薦型	5
21	神戸大学	国立	システム情報	学校推薦型	15
22	和歌山大学	国立	システム工	学校推薦型	10
23	島根大学	国立	総合理工	学校推薦型	20
			材料エネルギー	学校推薦型	6
24	長崎大学	国立	情報データ科	学校推薦型	10
			工	学校推薦型	12
25	熊本大学	国立	情報融合学環	学校推薦型	8
26	大分大学	国立	理工	学校推薦型	14
27	宮崎大学	国立	工	学校推薦型	14
28	兵庫県立大学	公立	工	学校推薦型	15
29	山陽小野田市立山口東京理科大学	公立	工	学校推薦型	15
30	高知工科大学	公立	データ&イノベーション学群	学校推薦型	不明

注：「令和7年度国公立大学入学者選抜の概要」及びウェブ上に公表されている各大学の募集要項等に記載された募集人員を基に作成。なお、高知工科大学の募集人員について、選抜要項上は「若干名」と記載あり。

29

東京科学大学（東京工業大学）

東工大の一般選抜と総合型選抜・学校推薦型選抜の違い

一般選抜（前期日程）

- 方式：全学共通入試
- 選抜：共通テスト、個別学力検査、調査書

➡ 学力検査中心の選抜

総合型・学校推薦型選抜※

- 方式：学院別入試
- 選抜：共通テスト、個別学力検査、面接、調査書など（学院ごとに異なる）

➡ 学力検査に加え、面接や多種の書類を含む、より丁寧で多面的・総合的な選抜

※ 総合型選抜：旧AO入試のこと
学校推薦型選抜：旧推薦入試のこと

「一般枠」「女子枠」を導入

新たに設置した女子枠とは？

- 女性が対象となります。
- 提出する出願書類など新たな評価軸を追加します。
- 女子枠の数や選抜方法は学院ごとに異なります。
- 基礎学力が基準に達している志願者が募集人員に満た

なければ、合格者は募集人員より少なくなります。

■募集人員（令和7年度入学者選抜）

149名（総合型【理学院、工学院、物質理工学院、情報理工学院、環境・社会理工学院】：134名、学校推薦型選抜【生命理工学院】：15名）

<令和5年10月東京工業大学公表資料及び令和7年度同大学入学者選抜要項より>

金沢大学（理工学域）

■概要

本学では、共生社会の実現を目指して、様々な個性を持つ学生や教職員が互いの特性を尊重し、それぞれの資質や能力を十分に発揮できるダイバーシティ（多様性）に関する取り組みを行っており、その活動の一環として、諸外国の大学に比べて比率が低い理工系の女子学生や女性研究者・技術者の育成を支援しています。さまざまな科学技術のイノベーション（新しい価値の創造）に女性の視点を反映させることは大学や社会全体にとっても重要な課題となっています。

これらの社会的要請に応えるため、理工学域では、「女子枠特別入試」を導入し、入学を希望する学類の入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）に基づき、口述試験により「主体性」「協働性」などを評価し、志願者の能力・資質及び意欲に重点を置いた選抜を行います。

■募集人員（令和7年度入学者選抜）

38名（総合型）

■選抜方法（令和7年度入学者選抜）

（例）理工学域 数物科学類

- 出願書類（調査書、志願理由書、活動記録）等を参考に「口述試験」を行い、「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します
- 大学入学共通テスト（※）で「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」を評価します

1. 2. の評価を総合して選抜を行います。

（※）大学入学共通テストの利用教科・科目名

国『国語』

数『数学Ⅰ，数学A』『数学Ⅱ，数学B，数学C』

理『物理』、『化学』、『生物』、『地学』から2

外『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』、『韓国語』から1

<令和7年度金沢大学学生募集要項より>

夏のリコチャレ2024振り返りと2025に向けて

夏のリコチャレ2024 ～理工系のお仕事を体感しよう！～

【事業概要】

- ・主に女子中高生等を対象に、夏休み期間を利用して、企業・大学・学術団体等が実施する理工系女子応援イベントに関する広報事業。
- ・内閣府・文部科学省・日本経済団体連合会の共催事業。
- ・**職場見学、工場見学、シンポジウム、実験教室、先輩女性社員との交流等**



こども霞が関見学デー「求む！未来の理工系女子！」
(株式会社エスワイシステム・内閣府男女共同参画局)



「女性技術職員と親子で遊ぼう！
夏休み子どもサイエンス2024」
(大阪大学部局横断型女性技術職員ネットワーク)



「フジタで“見て、触れて”楽しく学ぼう 建設」
(株式会社フジタ)



「夏休み体験型科学教室2024」
(NTT情報ネットワーク総合研究所)

夏のリコチャレ2024開催実績

119団体228イベント

6,900名以上が参加

「夏のリコチャレ2024 ～理工系のお仕事を体感しよう！～」 開催実績

●夏のリコチャレ2024 開催実績

参加団体数：119 企業：55 大学等：28 地方公共団体：16 学術団体・その他：20

イベント数：228 オンライン(実地開催とのハイブリッド含む)：28 実地：200

参加者数：6,900名以上

【参考】

●夏のリコチャレ2023開催実績

96団体162イベント

6,300名以上が参加

【昨年度からの変化】

- ・参加団体数、イベント数、参加者数が、昨年度から大幅増加
(参加団体数：96団体⇒119団体、
イベント数：162イベント⇒214イベント
参加者数：6,300名以上⇒6,900名以上)。

■事務連絡発出先

- ・都道府県男女共同参画主管課（6/18）
- ・政令指定都市男女共同参画主管課（6/18）
- ・各都道府県教育委員会担当課（6/21）
- ・各指定都市教育委員会担当課（6/21）
- ・各都道府県私立学校主管部課（6/21）
- ・構造改革特別区域法第12条第1項を受けた学校設置会社を所轄する各地方公共団体の学校設置会社担当課（6/21）
- ・附属学校を置く各国公立大学法人担当課（6/21）
- ・各文部科学大臣所轄学校法人担当課（6/21）

■その他周知

- ・政府広報を活用したSNS（Instagram、X、LINE）広告（7/18-31）
- ・男女共同参画局SNS（Twitter、Facebook）（6/28~8/30、計7週配信）
- ・文部科学省メルマガ（初等中等教育ニュース、マナビィメルマガ）（マナビィメルマガ7/8、初等中等教育ニュース7/12）
- ・男女共同参画局広報誌「共同参画」（7月号、10月号）
- ・内閣府HPトップページ（トピックス欄への掲載）（6/28-30、7/1-4）

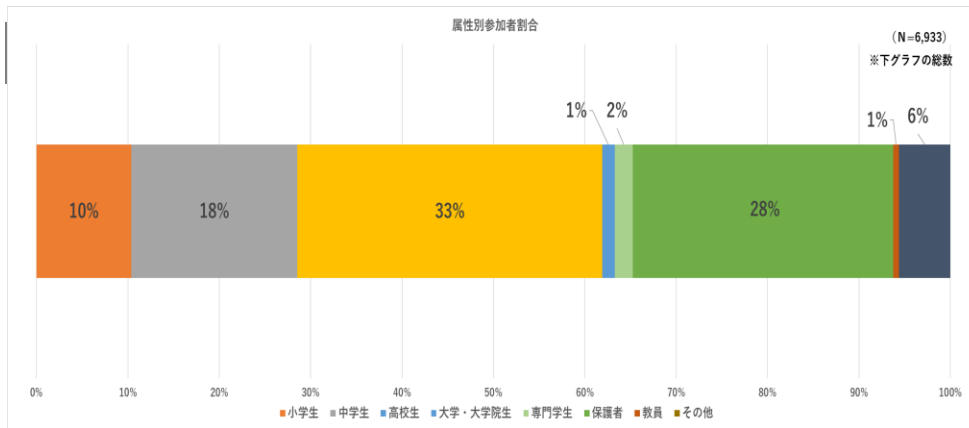


夏のリコチャレ2024 アンケート結果 ①

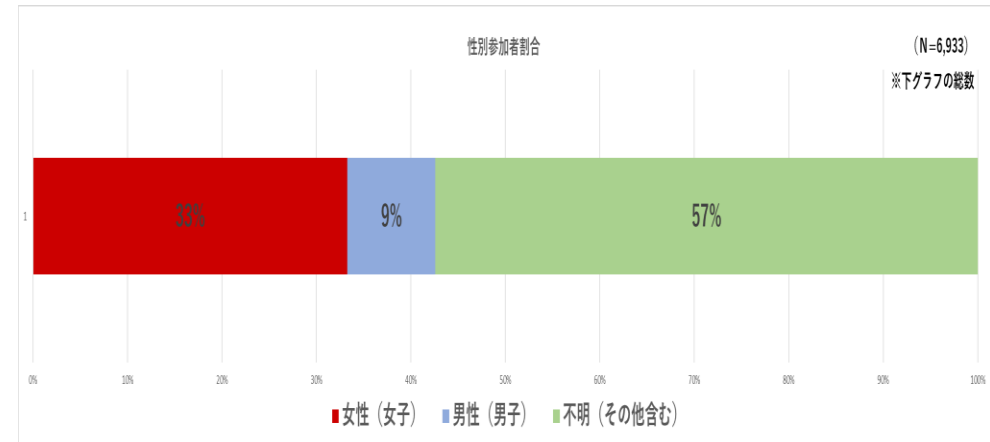
- ◆夏のリコチャレ2024イベント実施団体向けアンケートより、集計
- アンケート対象：夏のリコチャレ2024実施団体119団体（うち、有効回答数85団体）

I. 参加者

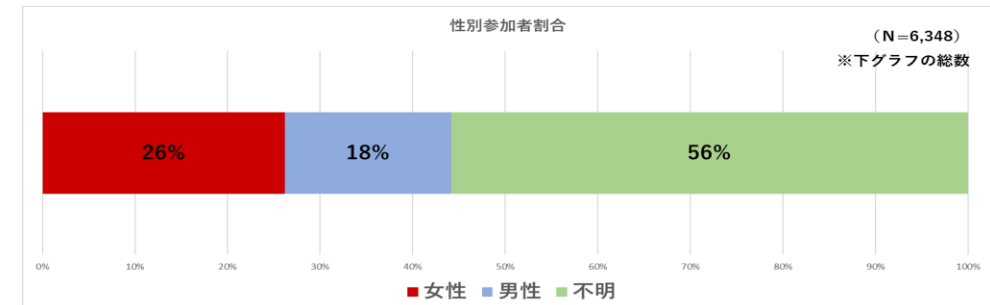
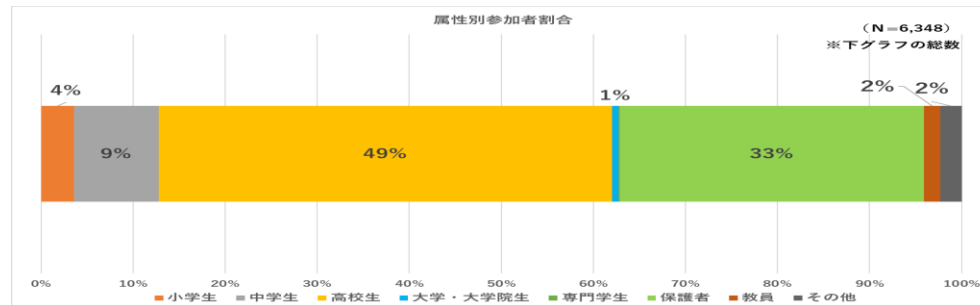
属性



性別



※参考：2023年度

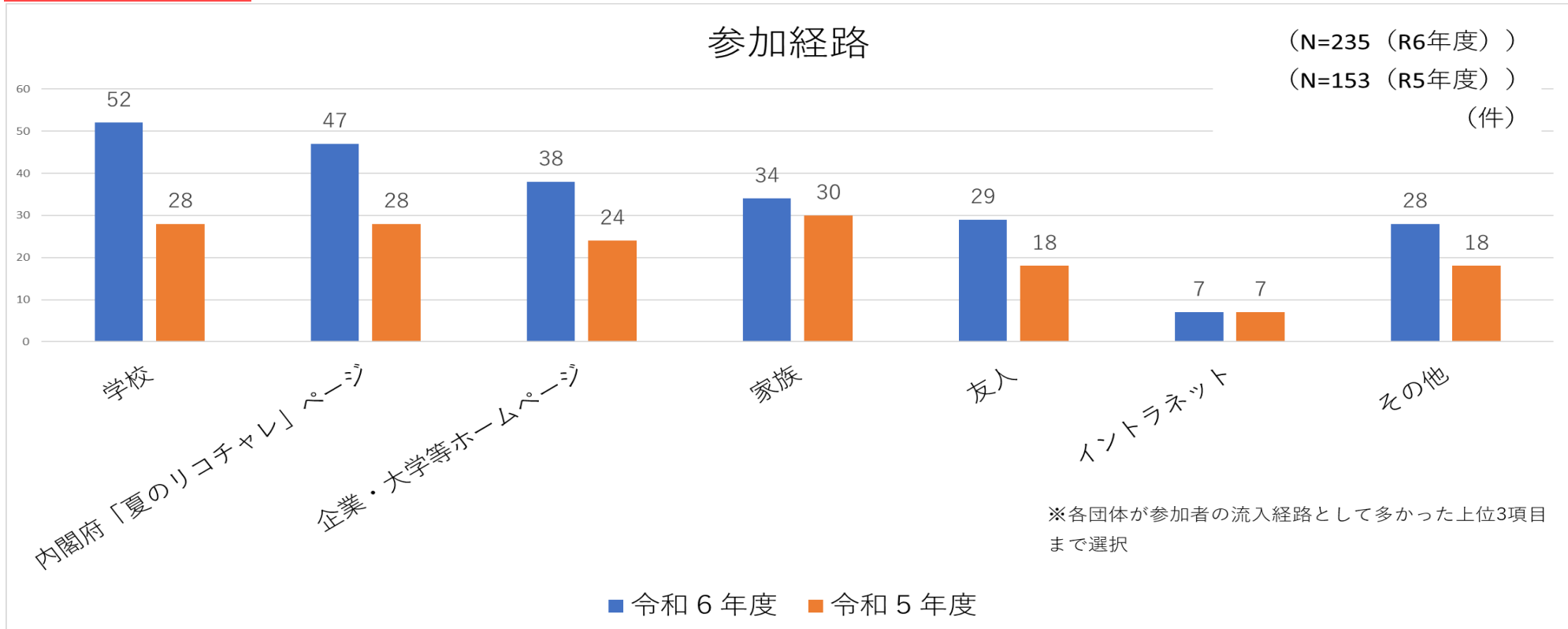


- 小学生・中学生の参加比率が増加しており、幼少期をターゲットとした働きかけが増加したことが見て取れる。
- 参加者の性別割合は、女性（女子）の比率が増加している。

夏のリコチャレ2024 アンケート結果 ②

- ◆夏のリコチャレ2024イベント実施団体向けアンケートより、集計
- アンケート対象：夏のリコチャレ2024実施団体119団体（うち、有効回答数85団体）

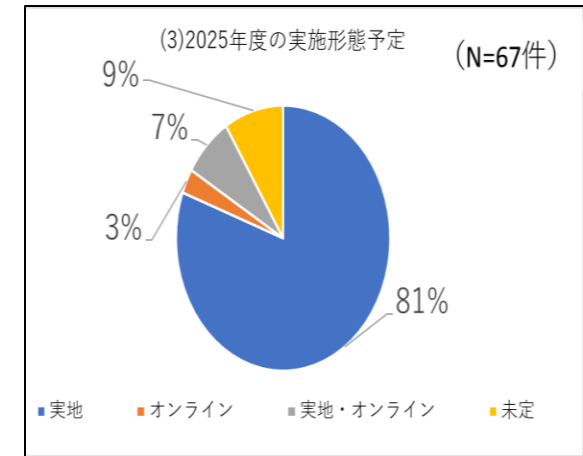
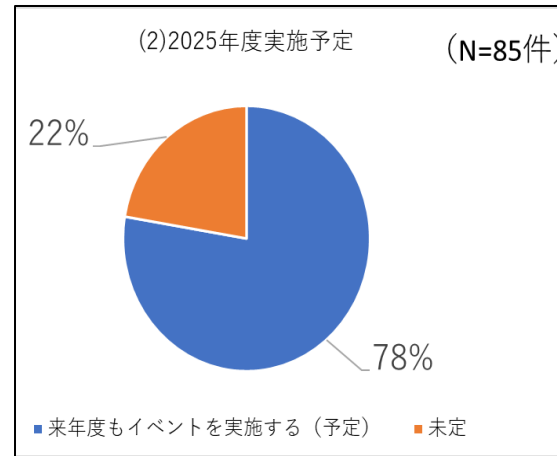
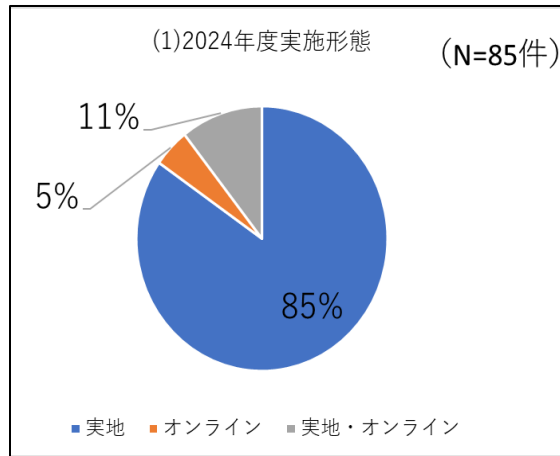
II. 参加経路



特に、「学校」及び「内閣府「夏のリコチャレ」ページ」経由の流入数が増加したという結果となった。今年の広報では、新たに学校教員や自治体職員を対象とした説明会、教職員や教育委員会関係者をメインターゲットとした文部科学省のメールマガジン配信、政府広報と連携したSNS広報の強化等の結果が反映されていると推測される。
来年度も、継続的に取り組んでいく。

- ◆ 夏のリコチャレ2024イベント実施団体向けアンケートより、集計
- アンケート対象：夏のリコチャレ2024実施団体119団体（うち、有効回答数85団体）

Ⅲ. 実施形態



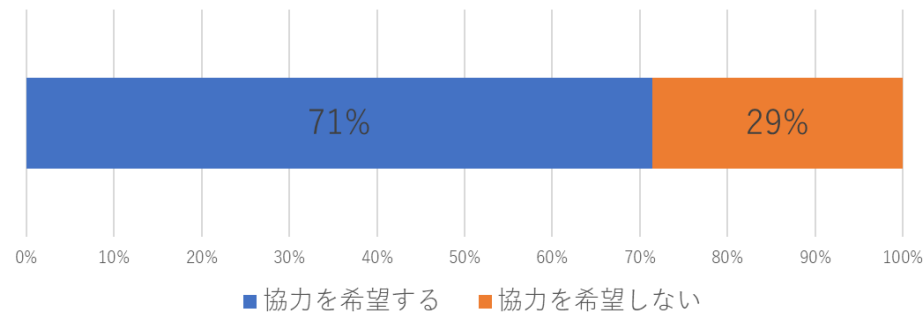
- 今年度はほとんどのイベントが実地開催された。また、約8割の団体が次年度も実施を予定しており、そのうち、81%の団体が、実地開催を検討している。
- コロナ禍の時期から比較すると、徐々に実地開催の割合が増加していることから、「実地開催だからこそ伝えられる」ことに魅力を感じている団体が増加していることが分かる。一方で、アンケートにて、「この実施形態だと「会場まで連れて来てもらえる子」以外へアプローチできないことに歯がゆさを感じる。」との回答もあった。
- 後ほど、実地・オンラインのハイブリッド形式でイベントを開催した団体に事例発表していただくので、是非参考にしていきたい。

夏のリコチャレ2024 アンケート結果 ④

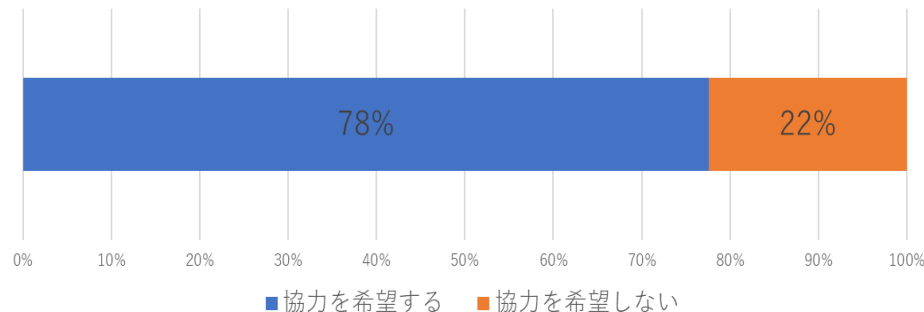
- ◆夏のリコチャレ2024イベント実施団体向けアンケートより、集計
- アンケート対象：夏のリコチャレ2024実施団体119団体（うち、有効回答数85団体）

IV. 自治体との協力

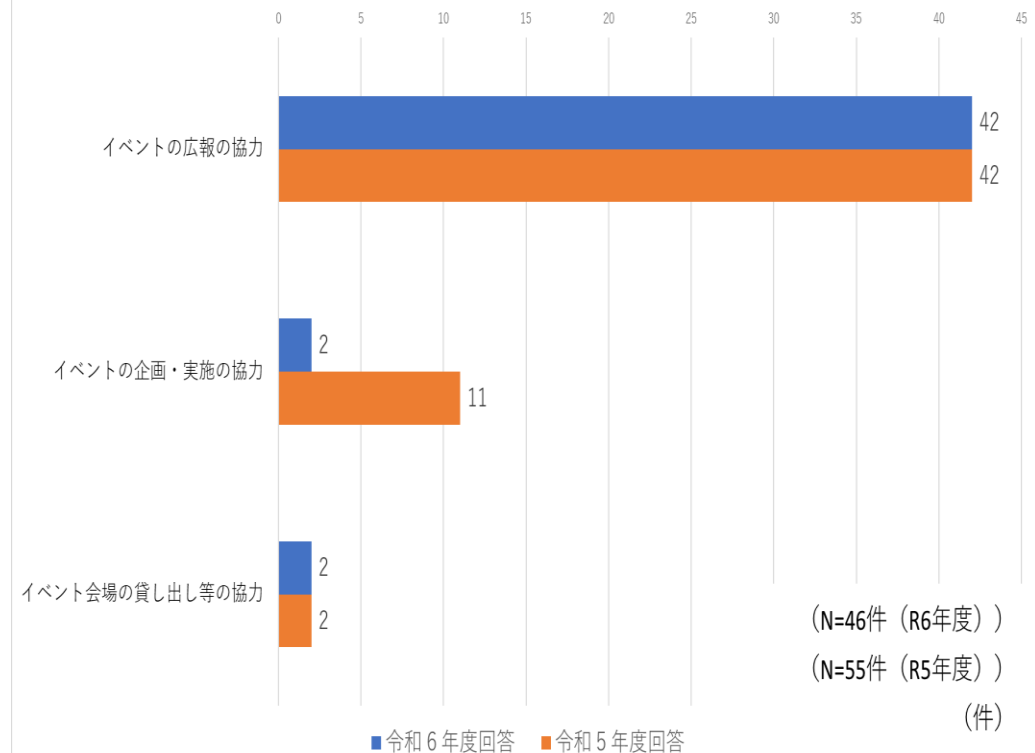
自治体への協力希望（令和6年度）（N=70件）



自治体への協力希望（令和5年度）（N=58件）



希望する協力内容

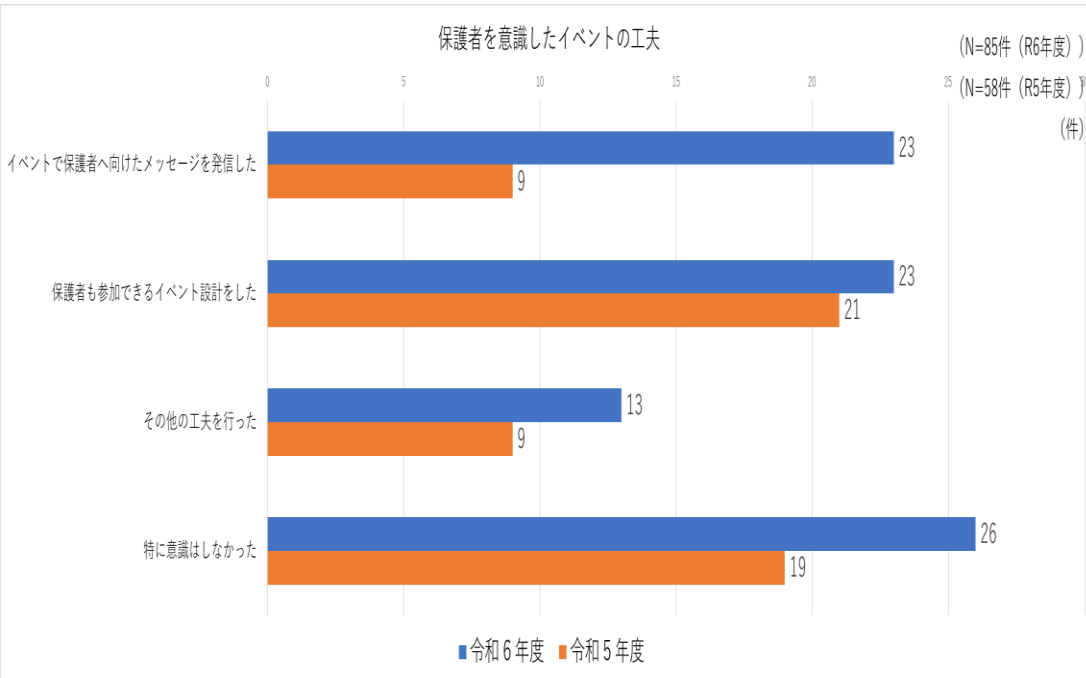


- 引き続き、約7割の団体が「自治体の協力」を希望している。
- 特に「イベントの広報の協力をしてもらいたい」という期待が寄せられている。

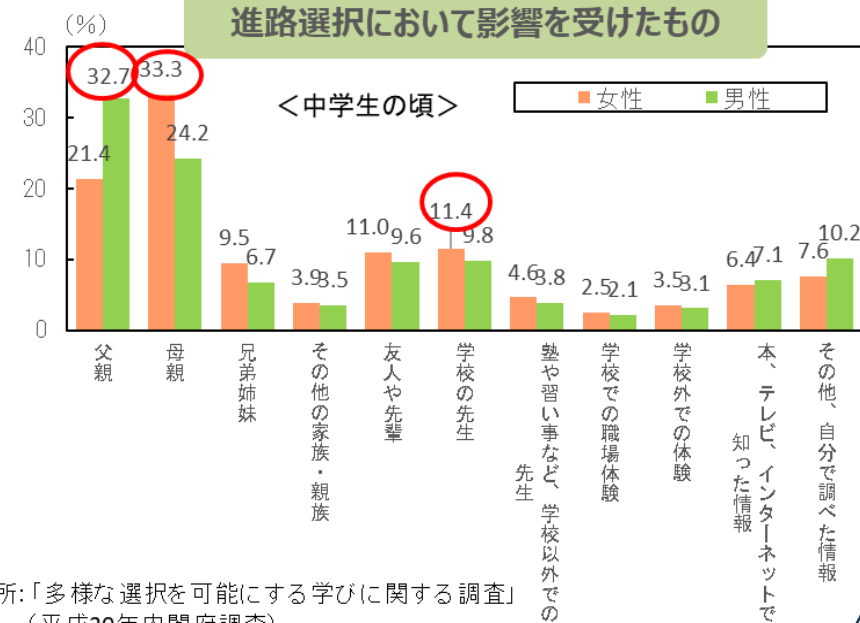
夏のリコチャレ2024 アンケート結果 ⑤

- ◆夏のリコチャレ2024イベント実施団体向けアンケートより、集計
- アンケート対象：夏のリコチャレ2024実施団体119団体（うち、有効回答数85団体）

V. 保護者を意識したイベント



※参考：平成30年内閣府調査より

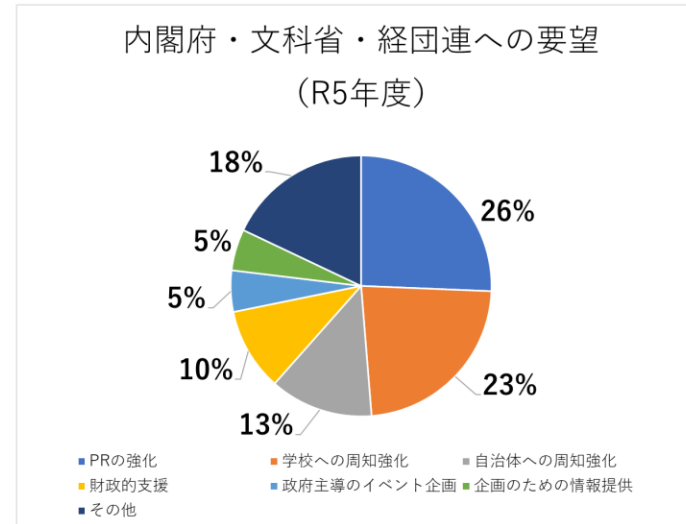
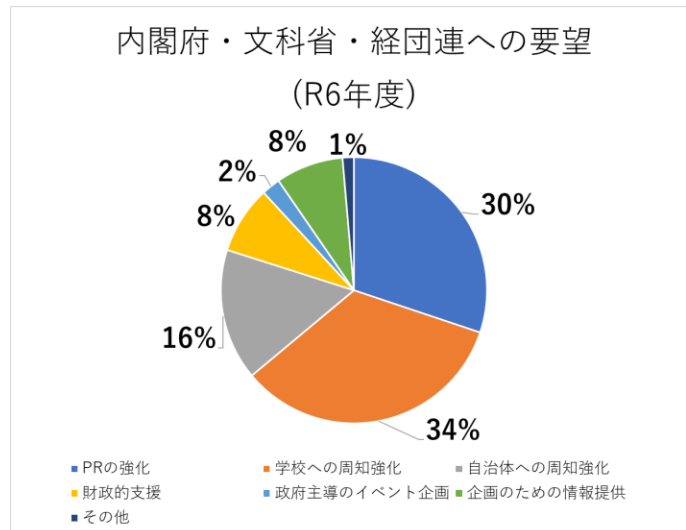


- 昨年度比で、「イベントで保護者へ向けたメッセージを発信した」事例が増加。
- 過去の内閣府調査においても、進路選択における保護者の影響は極めて大きいため、今後も保護者を意識したイベント上の工夫がさらに行われることが必要である。

◆夏のリコチャレ2024イベント実施団体向けアンケートより、集計

- アンケート対象：夏のリコチャレ2024実施団体119団体（うち、有効回答数85団体）

VI. 内閣府・文科省・経団連への要望



- 「PRの強化」、「学校への周知強化」への期待が特に高まっている。
- 今年度、内閣府「夏のリコチャレ2024」ページへのアクセス件数は、昨年度比で約5倍以上（100,000PV以上）となった。今後もさらなるPRの強化に向け尽力する。
- また、今年度から、学校関係者や自治体職員等を対象にした説明会を実施するとともに、教職員や教育委員会関係者を中心とした文部科学省のメールマガジンを通じた働きかけを行っている。今後も学校への周知強化のため、説明会の実施や、学校への働きかけを継続的に行っていく。

VII. 参加者の声（一部抜粋）

実施団体	参加者の声
企業	- 研究職や大学の詳細について、様々なことを聞くことができた。<u>理系の道に興味を持った。</u> <u>文系志望だったけど、理系の仕事も夢があってもおもしろそう！</u>と興味がわいた。 - 参加前は<u>バーチャルリアリティーに興味があった</u>だけでしたが、<u>見学・体験を経て将来（進路）は理系に進みたい</u>と思いました。 <u>今まで技術系の仕事に最初から興味がある人が多いのかな</u>と思っていたが、<u>様々な人がいることに驚いた。</u> - 建築に関する<u>理解が深まり、将来建築業界で働きたい</u>という気持ちがより強くなりました。 <u>このリコチャレをきっかけに子供は、医療機器を作る企業への入社希望が一層強くなった</u>ようです。仕事をする上で、最も大切な<u>やりがい</u>を教えて下さったこと、このような機会を作ってくださり、<u>本当に感謝</u>しています。（保護者より） <u>理系文系どのように進路を決めるか</u>、好きな気持ちを大事にして一歩踏み込む、また大人になって学び直せることも聞けて<u>よいエールになった</u>と思います。（保護者より）
大学等	- とても楽しかったです。<u>文理選択に悩んでいましたが、理系に進もう</u>と思いました。 <u>地域の大学が女性も工学系へ関心を示してもらえるように、という取組をしていることは、今後のこの地域の仕事の拡大にもつながり、素晴らしいと思った。</u>（保護者より） - 現在<u>進路選択に悩んでおり、現役大学生とお話ができてよかった。</u> <u>理学部についてあまり知りませんでしたが、今回の企画で様々な視点から理学部のことを知ることができ、とても参考になりました！</u>ありがとうございました！ - とても興味深い内容でした。<u>来年も開催して欲しい</u>です。 - 娘が大変お世話になりました。<u>大変楽しんでいまして、まだ中学生なのですが、既に入学したいと申し出ておりました。</u>また是非他の講座も体験させてください。（保護者より） - 高校生のうちにいろいろなサイエンスキャンプやオープンキャンパス等に参加し、<u>視点を広げておきたいと感じました。もっともっと積極的に科学に触れたいと思え、勉強のモチベーションも上がりました。ありがとうございました。</u> <u>生の声を聞くことで入学後のイメージが広がり、参加して本当に良かった。</u> - 実際に体験することでどのようなことをやっているのか<u>理解を深めることができた。</u> - 同様のイベントを実施して3年目であるが、<u>リピーターが出るようになった。</u>（主催者より）
学術・研究機関、行政機関等	<u>理系教科が好きだけど女子に理系が少ないこと、理系は看護や医学など専門的な学部が多いことから進路に悩んでいましたが、理系に行こうかな</u>と思いました。 - 来年は、高校2年生なので、進路選択があります。<u>理系が好きだけど、少し不安な部分もあったので、今回参加することで、すごく自分のためになりました。</u> - 大学で理系にすすんだとき、<u>就職先にどのようなものがあるかは想像できなかった</u>ので、今回のツアーは自分の将来を考えるいい材料になった。 - 土木学科が<u>どんな事を勉強するのか、土木業界でどんな仕事をするのかイメージが沸いた</u>ので大変ありがたい。（保護者より） <u>親の話だけではなく、実際に先輩方の声を聞くことができて、本人もよりイメージがついた</u>と思います。（保護者より） - 学習がとても面白く、<u>理科（化学）についてさらに知りたくなった。</u>